

# Yamakado News Letter



コースに溢れ出した雨水 8日午後 (橋本K 動画キャプチャー)



## 台風5号の大雨による沢の氾濫 (四季の森上流)

8月7日夜から8日見未明にかけて滋賀県内各地で激しく雨が降り、姉川が一部で氾濫するなど、大きな被害をもたらしました。

山門水源の森でも大雨によって大量の土砂が湿原に流入しました。四季の森の上流で増水した沢が河岸侵食や法面崩壊を起こし、大量の土砂が流出。それらの土砂は倒木などと一緒に流されて目詰まりしてダムを形成しました。ダムによって水位が約2m上昇した後、一気に下流に流出したものだと思われます。

流出した砂によって四季の森下流の沈砂池周辺では流路に砂が堆積して水の流れを遮断。溢れた水が湿原側に向かい、砂を含んだ濁水が常に湿原に流れ込む状態になっていました。

湿原に砂の流入が続くのは好ましくないため、水の流れを元に戻さないといけません。流路を塞ぐ大量の砂をどう除去するかですが、河床が低い沈砂池側に、堆積した砂の高さまで土のうを積み、再び水を流路側に溢れさせました。一旦水の流れができると、水の流が砂を削って下流へと押し流し続け、流路は1日後には元の水の流に戻っていました。沈砂池に溜まった砂は保全作業の日に会員6名が浚渫にあたり、排出しました。

後は四季の森のダム化した流木の山ですが、この処理がなかなか手に負えません。今後、保全作業などで処理を進めたいと思います。皆様のご協力をお願いします。





## 作業道づくり開始

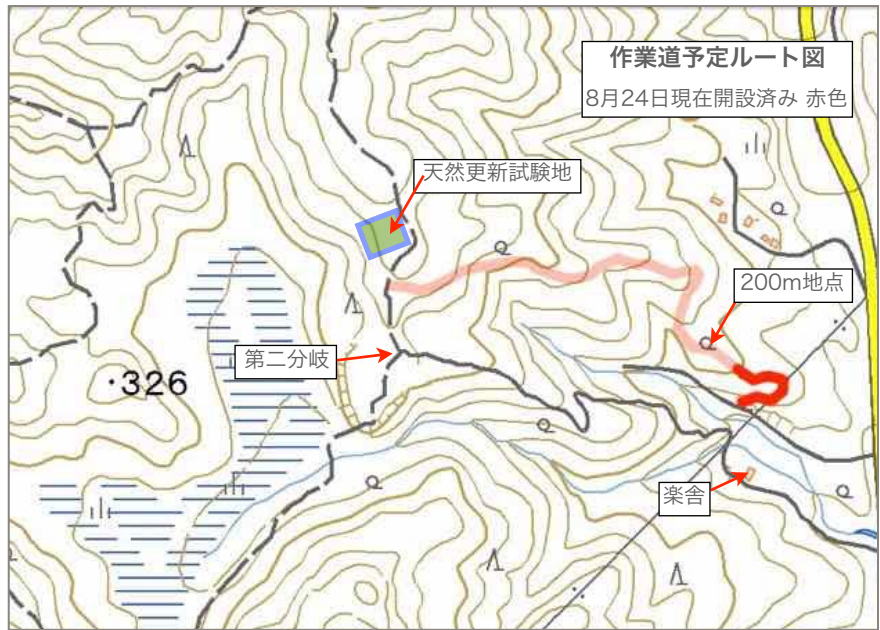
今年度の滋賀県協働提案事業の一環で、作業道の開設を計画していることは、6月のニュースレターでもお知らせした通りです。その作業を8月9日より開始しました。

作業道は第二分岐と天然更新試験地の中間辺りのコース上（全長およそ6~700m）に接続するのを当面の目標としていますが、今年度はそのうちの200mの開設を計画しています。

作業を始めて、改めて花崗岩地質の特徴がよくわかりました。パワーショベルで表土を剥がし、基盤岩を掘削して路面の成形をしていきますが、予想以上に基盤が柔らかく、簡単に掘削できます。また掘削した基盤は碎石にならず、ほとんどが砂状になります。ですから整地はしやすいですが、地盤が固まりにくく、大雨が降ると表面が流れやすいので要注意です。

作業道づくりで指導をして頂いている清光林業の岡橋氏は、花崗岩の山は道づくりが難しくできれば関わりたくないとい前話しておられました。実際に作業を始めて見て、花崗岩地質の厄介さが実感できた次第です。

長浜市内の別地区ですが、同じ花崗岩地質の山に敷設された作業道があります。ここは4t車が通行可能な道幅で切り高も高いのですが、先の台風の大雨で路面が崩壊して車両は通行不能になっていました。こうなってしまうとは、獣害対策用の資材搬入や、今まで出来なかつ



たヒノキ林の間伐など、今後継続的に行なっていききたい作業が出来なくなってしまいます。そうならないように慎重に道づくりを行なう必要があります。

## 山に帰るカエル

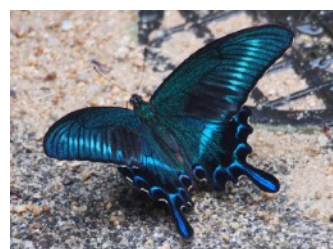
この時期山を歩いていると、谷筋から上へ向かって移動して行く小さな物体を幾つも見かけます。モリアオガエルやニホンヒキガエルの幼体です。この世に生を受けてわずか数ヶ月。それでいて既に孤独。しかし自分の意思で生きていこうと小さな歩みを一步一步続けて前へ進んでいきます。



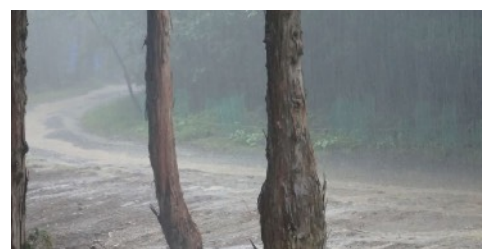
## 今月の森の様子



サギソウが満開 中央湿原ネット内 8/17



吸水中のカラスアゲハ 8/25



台風前日 大雨で視界不良の進入路 8/7